

考え方や市場の枠組みを超えた取り組みが動き出しています。

豊岡の持つ魅力を、健康・文化・研究などの視点から、さらに引き出そう、守ろうとする人や団体が増えています。

豊岡にあるものや豊岡でつくられたものを存分に生かしながら、市民それぞれが人生を楽しんでいます。～

もう少し具体的にイメージしてみましょう。  
～観光や教育と一体となった豊岡型の有機農業にひかれて、若者の新規参加が増えています。栽培技術や販売、デザインなどに関して、専門的に協力してくれる市内外の人が増え、豊岡製品のブランド力が高まっています。



コウノトリを核として、温泉・海・山をめぐるツアーが人気となっています。円山川では競技ボートやカヌーを楽しむ人が増え、かばんなどのものづくりを見学・体験するツアーが静かなブームとなっています。豊岡で働きたいという問い合わせが増え始めます。

環境問題の解決に取り組む企業が脚光を浴び、環境分野の事業展開に意欲を持つ企業や人が豊岡に集まりだします。



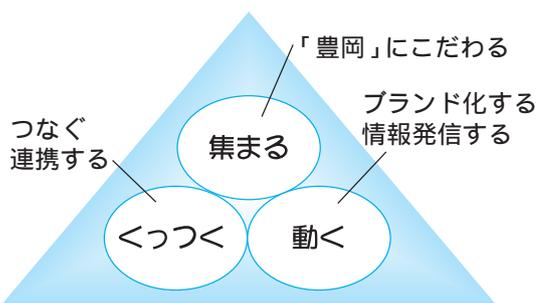
コウノトリが空を舞うのが当たり前になり、都会に出ていた人々が、次々にふるさと・豊岡に帰ってきます。～

#### 4. 「戦略」の基本の柱

めざすまちのイメージを実現していくため、次の5つを「戦略」の基本柱としました。

- 豊岡型地産地消を進める
- 豊岡型有機農業を推進する
- コウノトリツーリズムを展開する
- 環境経済型企業の集積を進める
- エコエネルギーの利用を進める

具体的な取り組みを生み出し、成長させるためのヒント



#### 5. “環境経済の芽”を育てる

自然豊かな「環境」を産業や暮らしに生かしていくこうとする“環境経済の芽”は、すでに豊岡にいくつか芽生えてきています。その一つが、コウノトリツーリズムとしての修学旅行です。5月25日には、第1号となる中学校の修学旅行生が三重県松阪市からやってきました。



コウノトリの郷公園を見学する修学旅行生

コウノトリの絶滅と復活の物語や、河川や田んぼの自然再生の取り組みが学べるようにし、今後、全国から修学旅行・団体旅行・研修旅行・シンポジウムの申し込みが増えるようにしていきたいところです。

「戦略」の全文は、市のホームページ(トップ画面)の「コウノトリと自然」のボタンからどうぞ)や図書館でご覧ください。

《問合せ》コウノトリ共生課

# 豊岡市環境経済戦略

地球温暖化、世界中で起こる異常気象……、環境や経済に関する身近なニュースは、ますます私たちの暮らしの中に増えているようです。さまざまなことへの見直しが始まりつつある時代に先駆けて、「豊岡市環境経済戦略」をつくりました。その内容を紹介します。

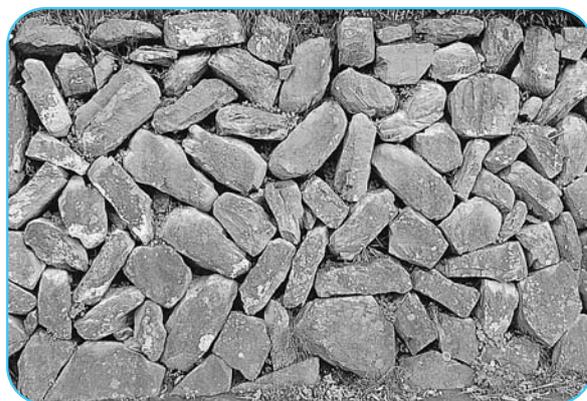
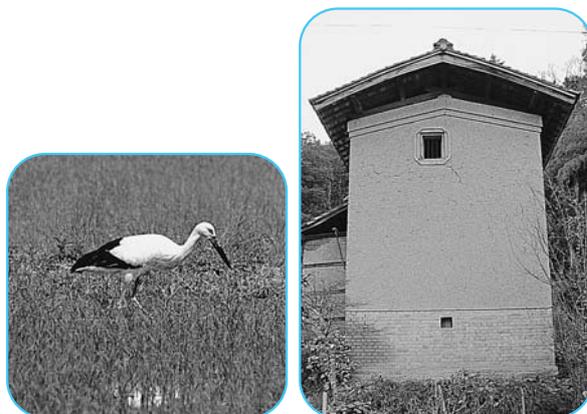
## 1. 戦略、そのねらいとは

これまで、ともすれば「環境」と「経済」は対立的にとらえられてきました。しかし、環境と経済が刺激しあい、互いを高めあうような考え方の道筋を示すことができるのではないかと、市全体として環境と経済の共鳴を目指すことができるのではないかと。そんな思いを込めたものが「豊岡市環境経済戦略」です。

自然豊かな「環境」は、私たちのまちの大きな資源であり、新市となった今、ますます重要となっています。環境を良くする取り組みを持続的なものとし、かつ、経済的に自立して歩いて行くために、この「戦略」を“旗印”として、個々の取り組みを丁寧につなぎ、成功例をつくっていくことを目指します。



環境経済戦略策定委員会の様子



豊岡には、自然と共存する先人たちの知恵がありました。誇るべき暮らしの文化がありました。「豊岡型の暮らし」を新しい形でつくっていくことが、環境と経済を共鳴させるために求められています。

## 2. 豊岡型の暮らし

「戦略」をつくるにあたって、あらためて暮らしを見つめ直す作業をしていたときに、台風23号の被害にあいました。経済効率を最優先してきた時代に進めてきたことの矛盾の顕在化でもあると思われ知らされました。

そこで気づいたのは、土地に根ざしたものを、環境に合わせながら生かし続けることの重要性です。

## 3. 環境と経済が共鳴するまちとは？

環境と経済が共鳴するまちとはどんなまちなのか。それは、こんなイメージです。

～生活のいたるところに環境が取り入れられ、地元への愛着や理解が深まっています。

「環境のまち・豊岡」のイメージが高まり、農業や観光、ものづくりなどの分野において、従来の